

元群馬大学医学部附属病院医療事故調査委員会委員への1年後の報告会

医学部附属病院における腹腔鏡下肝切除術等の事故に関して、医療事故調査委員会委員によりまとめられた報告書の公表から1年が経過したことから、元委員に対して当院における1年間の改善・改革状況の報告会を平成29年9月1日（金）に実施しました。

報告会では、院内視察のほか、報告書公表以降の当院の改善・改革状況の報告や各部署における医療安全等の取り組み状況についての報告を行った後、意見交換を行いました。

委員からは、①診療科の壁を超えることや多職種によるカンファレンスの活発化など病院内の意識



が大きく変わったと感じる、②インフォームド・コンセントを患者さんに評価していただく取り組みは先進的である、③医師のインシデント（ヒヤリ・ハット）の報告が増加しており報告行動が活性化している、④病院全体で改革に取り組んでいる。など、報告書で提言したことの8割程度は達成されているという評価をいただきました。



一方、残り2割程度については、体制を整えて実行していくもので、具体的には患者さん自身が電子カルテを見られるようにする仕組みなどの患者さんの参加促進のほか、患者さんやその家族、地域住民の皆様に、医療に関する理解をより深めていただくための方策を検討すべきなどの課題もご指摘いただきました。



医学部附属病院では、課題とされた部分はもちろん、評価いただいたこれまでの取り組みも含め、患者さんに安全・安心の医療を提供するために、これからも改善に取り組んで参ります。

（参考）

- ・ [医療事故調査委員会委員への1年後の報告会報告内容](#)
- ・ [改革工程表の各項目（提言等）に係る改善・改革の実施状況（全体版）（平成29年7月14日）](#)
- ・ [改革工程表（平成28年10月7日）](#)
- ・ [改革への取り組み（平成28年11月1日）](#)
- ・ [群馬大学医学部附属病院医療事故調査委員会報告書（平成28年7月27日）](#)
（別添）日本外科学会による医学的評価報告

